

---

# 永久の檻

茜 風緋

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

永久の檻

### 【Nコード】

N3194F

### 【作者名】

茜 風緋

### 【あらすじ】

とある、機関によって捕まっている兄妹がいた。兄は妹にやさしく、妹は兄に愛を。しかし、或る日を境に兄はおかしくなっていた。優しかった兄が妹を振り払い冷たい言葉を放つ。その言葉に妹は……

これは、奈落への第一の危険因子の物語<sup>ロマン</sup>

・・・2月の在る冬の日のこと、兄妹は、いつものように、だれとも知らぬ被験体と共に

作業をしていた。

手は磨り減るほどボロボロになり、薄暗く、狭い部屋で何も感じることのできない

他の被験体は、一様に狂い掛けていた。

「お兄様、見てください。被験体1077が・・・」

「ソロールや、あんなもの見てはいけない。

さあ、作業を続けよう。」

そういつて、通称フラーテルは妹の通称ソロールに言った。

ソロールの指した被験体1077は既に発狂し、終には自分の頭に食  
事用の

フォークを刺し、血まみれになり、死んでいった。

こんなことが当たり前の施設に、二人は囚われていた。

そう、箱庭を語らざる檻の中で。

「被験体1097、さあ来い。」

そう施設の人間に呼ばれたソロルは、

「お兄様、行ってきます。」

兄に告げると実験室へと向かった。

実験室では、何をする訳でもなく、只、小さな椅子に座り、

質問と作業の説明をされるだけ。

後は、何も無い。

そのような日々が、3年以上続いていた。

それから4ヶ月経ち、6月の在る雨の日のこと、

いつものように、作業か、実験が行われていた。

ソロルは実験が終わると、自らの位置に戻り、

作業を続けた。

30分ほどすると、ソロルの後に呼ばれたフラーテルが戻ってきた。

「お帰りなさい、お兄様。」

ソロルは声を掛ける。

しかし、フラーテルは返事をしない。

いつもなら、優しい笑顔で「ただいま」と返事をしていた。

「あの、お兄様？」

やはり、返事が無い。

何かがおかしい。

おかしいことに気が付き、ソロルがもう一度声を掛けようとした瞬間、

罵声がとんだ。

「うるさいっ！！ 黙れ！」

いきなりの怒鳴り声に他の被験体も驚いていた。

その中で、誰よりも驚いていたのはソロルだった。

生きてきた中で、兄からそのような言葉を聞いたのは初めてだった。

「お兄様・・・？」

異変は突然だった。



幸せだった二人 永遠とわに届かなくなる前に

「ねえ…何故変わってしまったの？ あんなにも愛し合っていたのに…」

愛していた故に、裏切られた傷は大きい。

手元にあったナイフ（アークと呼ばれた物）を握って

兄への愛憎を箱舟アークに託した。

・信じてたその人に裏切られた少女

・逃げ込んだ楽園は信仰と言う狂気

・新しい世界へと羽ばたける自己暗示

・澄み渡る覚醒は『進行』という凶器

終にソロルすらも狂い始めた。

「嗚呼、神よ。我に箱舟を与え給え。」

暗き天窓へと祈りを捧げた。

不愉快で耳障りな願いは、神へと、届きはしない。

しかし、狂い始めた歯車をせき止めることはできない。

限りなく同一に近づこうと、求めるままに唇を奪い合い

同じ心的傷重トラウマを重ねた。

それは、彼女の兄に対する歪な愛の形だった。

叶うはずの無い愛に、夢を見た少女は、一瞬のうちに崩壊していった。

そして、彼女もまた楽園を求め始める。

<症例番号12>

モデル

投影型依存における袋小路の模型

即ち『箱舟依存進行』（アーク）

その刃を振るい、愛しき人を奈落へと誘う。

「はあ、はあ、はあ。」

正氣に戻った彼女は目の前の変わり果てた彼の姿を見て静かに告げた。

「無能な創造新かみにでも成った心算なの・・・か？」

在り日しに咲かせた花卉は暗闇に散り逝くように凜と

少女の声色で囁く「楽園へ還りましょう」・・・





## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3194f/>

---

永久の檻

2010年10月10日14時37分発行